

# 住宅の耐震補強工事などに補助金が出ます!

ここ数年、各地で発生した大規模地震の被害状況から、自宅の耐震に不安を抱く人も多いのではないのでしょうか。市では、災害から一人でも多くの生命を守るため、国や県とともに、木造住宅などの耐震化や、公道沿いの危険なブロック塀の撤去や改善を図る、プロジェクト「TOUKAI(東海・倒壊)-0(ゼロ)」を推進しています。

問い合わせ 都市住宅課 高橋郁哉 ☎③2633

## 木造住宅耐震補強



R6まで  
無料

### 専門家の耐震診断

**【対象】 昭和56年5月以前に建築された木造住宅**

あなたの家がどの程度の耐震性を有するか診断します。希望する場合は、都市住宅課(☎③2633)に電話で申し込んでください。

補助金

### 計画作成 + 耐震補強工事

精密な耐震診断を行い、それに基づき工事箇所や工事費などを検討して耐震補強計画(設計)を作成します。その後、耐震補強工事を行います。

**補助額** ▶一般の世帯=上限 **100**万円 ▶高齢者世帯など=上限 **120**万円  
\*条件を満たすと、補助金が最大15万円上乗せされます。

## ブロック塀などの撤去・改善

倒壊、転倒のおそれのあるブロック塀の撤去工事、改善工事の費用の一部を助成します。



工事内容	対象	補助額
撤去①	避難路、通学路沿いのブロック塀	「ブロック塀を撤去する工事費」と「2万円×塀の長さ」を比較し、安価な方の3分の2以内の額(上限20万円)
撤去②	①以外のブロック塀	「ブロック塀を撤去する工事費」と「9,200円×塀の長さ」を比較し、安価な方の2分の1以内の額(上限20万円)
改善	緊急輸送路(市指定)沿いのブロック塀	「ブロック塀を安全な塀に改善する工事費」と「38,400円×塀の長さ」を比較し、安価な方の3分の2以内の額(上限25万円)

\*ブロック塀の撤去、改善については、事前に担当が現地確認を行います。

## 住宅の瓦屋根耐風改修

令和4年1月1日から新築住宅の瓦屋根の耐風対策が義務化されたことを踏まえ、基準を満たさない住宅の瓦屋根改修工事の費用の一部を助成します。



補助内容	補助額
住宅の瓦屋根耐風診断	「瓦屋根の耐風診断にかかる費用」と「31,500円」を比較し、安価な方の3分の2以内の額
住宅の瓦屋根耐風改修工事	「瓦屋根の耐風改修工事費用」と「瓦屋根の面積(m <sup>2</sup> )×24,000円」を比較し、安価な方の23%以内の額 *瓦屋根の面積上限=100m <sup>2</sup>

⚠ いずれの補助金も、実施前に申請が必要です。詳しくは都市住宅課までお問い合わせください。

# 暑さ指数に気を付けて、熱中症を予防しましょう!

新型コロナウイルス感染症がなかなか終息せず、マスクが必要な生活はすぐには収まりそうにありません。そんな中、夏が近づき、熱中症に注意が必要な季節が近づいてきました。本年から、熱中症に関する注意喚起の方法が変更されますのでお知らせします。

問い合わせ 健康推進課 清水明日香 ☎③0024



市LINE公式アカウントによる注意喚起のイメージ

**熱中症の注意喚起方法が変更になります**

前年度までは、7・8月は毎週、同報無線で熱中症の注意喚起を行っていました。本年度からは、「熱中症警戒アラート」が発令された場合は、同報無線・市LINE公式アカウント・まきのほらTeaメールなどで注意喚起を行います。

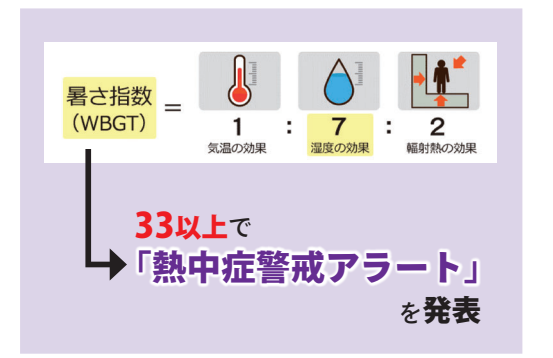
熱中症による救急搬送者は、令和3年度は全国で4万7877人、静岡県では1063人で、令和2年度よりも減少しました。しかし、発生場所は住居が39・4%、道路が17・5%、また65歳以上の高齢者が56・3%を占めています。高齢者や自宅における対策の重要性は変わりません。

**暑さ指数**

前年度から全国で採用されている注意喚起方法で、気温に湿度や輻射熱の3つを取り入れた指標です。暑さ指数が33を超えると「熱中症警戒アラート」が発令されます。暑さ指数は、環境省LINE公式アカウントと友だちになると、お知らせのメッセージが毎日、ご自身のスマートフォンに届きます。

「熱中症警戒アラート」が発令されたら

「熱中症警戒アラート」の発表基準である「暑さ指数33以上」というのは、非常に危険な状況です。



**「発表されたら…」**

A 外出や運動をなるべく避け、室内をエアコンなどで涼しい環境にして過ごしてください。

B いつも以上に、こまめな水分補給をしましょう。汗をかいたら、塩分補給もしましょう。

C 屋外で人と2メートル以上の十分な距離が取れたら、マスクを外しましょう。マスクの着用により熱がこもりやすくなり、のどの渇きを感じにくくなります。

**今からできる熱中症対策**

急に暑くなると、熱中症になりやすくなりますが、少しずつ暑さに慣れることで、熱中症予防になります。具体的には、「少し暑いところ」で「少しきつい運動」を30分以上続けることで、熱中症にかかりにくくなるというわれています。ただし、無理は禁物です。また「3食きちんと取る」「十分に睡眠をとる」「規則正しい生活をする」などの生活習慣は、熱中症や感染症の予防にもなります。「暑さ指数」を確認する習慣をつけて熱中症を予防し、元気に夏を乗り切りましょう。

## 暑さ指数と熱中症の危険性、注意事項など

暑さ指数(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	日常生活における注意事項(*)
31以上	すべての生活活動で起こる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
28~31		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
25~28	中等度以上の生活活動で起こる危険性	運動や激しい作業をする際は、定期的に十分に休息を取り入れる。
21~25	強い生活活動で起こる危険性	一般に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

\*日本生気象学会(日常生活における熱中症予防指針 Ver.3) [2013] より